キーボードカバーの製作と工夫

１　相談内容

相談者は、本人の妻で、本人は病気前にはパソコンが得意だったが、今はまったくしていない。どうすればパソコンが使えるようになるか、相談にのってほしいと来所されました。また本人が以前使用していたノートパソコンを使えるようにしてもらえないかと要望されました。

２　利用者プロフィール

50 代男性、脳幹出血による右半身不随のある方で身体障害者手帳 1 級、要介護 5 です。左手は比較的自由に動かすことができるため、左手でのキー操作が可能です。ただし脳幹出血の影響からか、目の見え方が以前と比べて見えにくくなっているようです。移動は自分では難しいため介助式車いすを使用しています。現在、介護付きマンションで暮らしておられます。

３　対応

ノートパソコンのキーピッチ(キーの間隔)は狭く、本人が左手での操作の際に他のキーにも触れてしまって誤入力が多いとのことでした。そこで外付けのフルサイズキーボードを購入していただき、それ用のカバーを製作することで手を置いても正確に入力できるようにすることとしました。また目の見え方に問題があったため、キートップに大文字シールを貼って見やすく工夫しました。

フルサイズキーボード用カバー

キートップに大文字シール貼付

４　結果

本人は、これでパソコンの操作ができるようになり、パソコンへの意欲が強くなってきたとのことです。今後は新しいパソコンの購入を検討したいので、また相談にのってほしいと話してくださいました。